

膠原病・リウマチ内科

1. 診療科としての特色

- 豊富な診療数・指導スタッフ・膠原病・リウマチ専門医療機関の中でも豊富な症例数（2012年度入院患者数延べ288名/外来患者数延べ28,226名）を誇り、充実したスタッフ・大学院生（内科指導医5名/内科専門医7名/リウマチ指導医4名/リウマチ専門医15名）の指導のもと、内科及び膠原病・リウマチ診療に必要な知識、診療技術を幅広く習得できます。
- 新規治療法に対する深い経験：製薬会社主導の生物学的製剤を中心とした治験に積極的に参加し、また医師主導の治験も行っており、新規治療法に対する深い経験を積めます。
- 学術的なキャリア：基礎から臨床に渡る多彩な研究を行っており、国内外留学なども経て学術的なキャリアを築くこともできます。

2. 研修目標

■教育目的

総合内科医として必要な態度および基本的臨床能力（内科および膠原病内科診療において頻度の高い問題・症候・疾患に対する臨床推論・臨床判断能力）を有する医師を育てる。

■研修目標

【態度・技能】

- 適切で系統立った病歴聴取・身体診察と記録ができる
- 正確で適切な Problem list を構築でき、それぞれに対し、適切な鑑別診断リストを構築できる
- 問題解決のための検査・consultation などの適応・限界・解釈のための知識を有し、適切な評価計画の立案ができる
- 問題の緊急性を考慮した、適切な初期治療方針の立案ができる
- 評価・治療方針を毎日考察し、必要に応じて変更し、議論を行い、記録することができる
- 問題解決のために必要な知識を自分で同定でき、その検索方法を認識し、それを解釈し応用する技術を有する
- 効率よく効果的で、お互いを尊重しあう communication を他の診療 team 構成員および患者および家族と行える

【知識】

- 一般臨床の基礎となる内科分野、そして内科臨床の基礎となる膠原病・リウマチ内科分野の問題・症候・疾患の臨床兆候を知り、病態整理を理解し、鑑別診断を挙げられ、評価・治療計画を立案できる。